



JTUC

日本労働組合総連合会
山梨県連合会（略称 連合山梨）

No.424 2026.10.2

れんごう

YAMANASHI

安心社会へ 果敢にアクション! ~広げよう「理解・共感・参加」の輪~

連合山梨 第38回年次大会議(案)

連合山梨は、10月23日(金)第38回年次大会を開催し、運動方針補強案を提起します。大会での論議に向け、運動方針補強案を掲載させていただきますので、各構成組織組合員の皆様の論議をお願いします。

なお、紙面の都合から抜粋して掲載させていただきますので、あらかじめご了承下さい。

第1号議案 2026~2027年度 運動方針補強(案) ※ が補強部分

■ 重点分野 — 1

【組織拡大の取り組み】(1)(2)(3)(4)(6)(7)(8)(9)略

(5)労働相談を契機とした組合結成を後押ししていくため、フェアワーク推進センターならびに、オルガナイザーとの連携を強化するとともに、引き続き委員会内に小委員会を設置しスピーディーな対応をはかる。

(10)オルガナイザーは、訪問する企業リストの構築を行い、対象企業を選定し、構成組織、組織拡大委員会、フェアワーク推進センター、地域協議会、本部オルガナイザーと連携を図り、組織拡大に努める。

【事業団体との連携】【関係友好団体との連携】

【安全・安心の取り組み】については省略

■ 重点分野 — 2

【2027春季生活闘争の推進】(1)(3)(4)(5)略

(2)2027春季生活闘争においても、経済・社会・企業情勢、労働者の賃金実態など様々な状況を勘案した上で、「底上げ」「底支え」「格差是正」の考え方にもとづき、月例賃金の引き上げにこだわり、賃上げのノルムの確立・浸透に取り組んでいく。

【仕事と生活の調和の実現】【中小企業職場の支援】

【公務員制度改革への対応】【地方行政への対応】

については省略

【最低賃金制度の取り組み】

最低賃金の引き上げに向けて、県民への周知活動、労働局や経営者団体への要請行動、そして山梨地方最低賃金審議会における議論を本年度も着実に積み重ねてきた。これらの取り組みは、次年度の運動を進めるうえで重要な基盤となった。

しかし、自立して生活できる賃金と最低賃金との間には引き続き大きな格差が存在している。山梨地方最低賃金審議会の労働側委員は、連合本部の中期的目標「一般労働者の賃金中央値の6割水準」の実現と、地域間格差の是正をめざし、最低賃金の引き上げを求めている。

また、最低賃金制度の遵守に向けた県民への周知活動を行うとともに、労働局や経営者団体への要請行動などを通じて違反撲滅に向けた行政指導を強く求めている。

加えて、公正競争と魅力ある産業に資する労働条件設定のために、特定最低賃金のさらなる引き上げに向け、課題を整理し取り組みを推進する。

【人口減少・超少子高齢問題への対応】

総務省統計局の発表によると2026年7月現在の日本の総人口は1億2,293万人となっており、対前年同月から44万人減少した。(65歳以上の割合は29.5%、75歳以上の割合は17.6%)2008年をピークに17年連続の減少となっており、このまま推移すると、2050年には1億人となり、2060年には8,700万人を割り込むと予測されている。

山梨県の人口は、2000年の約89.6万人をピークに減少を続けており、2026年7月公表の調査結果では77.3万人となっており対前年同月から6.9千人減少している。2040年の人口は約68.1万人にまで減少するとの厳しい見通しも示されており、危機的な状況となっている。

連合山梨としても、「やまなし人口減少危機突破共同宣言」や「豊かさ共創会議」などの取り組みに参画していく。

【審議会・委員会などの対応】については省略

■ 重点分野 — 3

【男女平等参画、ジェンダー平等の推進】(2)(3)略

(1)連合「ジェンダー平等推進計画」フェーズ2(計画期間2024年10月~2030年9月)に沿って展開するとともに、「労働組合における男女平等参画」と「職場・社会におけるジェンダー平等の推進」をめざし、2027年度も組織対話や組織実態調査を通じた各組織の取り組み状況の把握、および研修会などを通じた意識改革に取り組む。

【女性委員会】【青年委員会】については省略

【労働相談ダイヤル・法律相談窓口】(2)(3)略

(1)労働相談センター東日本と連携し、面談を希望する相談者、労働組合結成に向けた相談ならびに相談データを活用して、組織化につながる案件を中心に対応していく。対応にあたっては、オルガナイザーと連携し、組織化につなげていく。

【フェアワーク推進センターの活動】

連合本部主催のフェアワーク推進センターの取り組みを積極

〒400-0858 山梨県甲府市相生2丁目7-17 労農福祉センター内
TEL.055-228-0050 FAX.055-222-1189URL. <http://yamanashi.jtuc-rengo.jp/>
E-mail. info@yamanashi.jtuc-rengo.jp

発行人 宮下 竜三



RENGO_YAMANASHI



Facebook



Homepage

的に取り入れ、引き続いて県内街宣行動、ラジオCM、労働相談からの組織化に対して、オルガナイズーと連携した取り組みを強化する。

労働組合が存在しない職場で働く労働者や、パート・有期契約・未組織労働者・派遣労働者・フリーランス・外国人労働者など弱い立場にある労働者への問題喚起と安心を提供し、更なる組織化の推進をはかる。

【労働審判制度】については省略

□ 推進分野 — 1

【平和運動の推進】については省略

【自然災害等への取り組み強化と事業継続計画(BCP)策定】

(1)(2)略

(3)連合山梨におけるBCPの策定については連合本部と共有をはかる。

【連合山梨メーデーの取り組み】【ボランティア活動の推進】

【ふれあい基金活動】【山梨退職者団体連合との連携】

については省略

□ 推進分野 — 2

【政治活動の意義と政治活動への参画】

労働組合における政治活動の意義は、単なる選挙支援にとどまらず、働く人々の生活や権利を守り、社会全体の公正さを実現するための重要な手段である。政治活動は「特別なこと」ではなく、日常的な組合活動の一部として捉えることが大切であり、組合員一人ひとりが主権者として政治に関わる意識を高め、投票行動や政策への関心を促すことで、社会の成熟に貢献する未来づくりの視点で取り組んでいく。

私たちの雇用や生活に深く関わる問題は、政治の場で議論され、法律や制度として整備されていく。このことから、私たち働く者・生活者・納税者の視点に立った考えや現場の状況を正確に政治の場へ伝えていくことが課題解決への近道である。

特に、日本の投票率が低迷している現状を踏まえ、国民や若い世代の政治への関心を喚起する取り組みが強く求められている。そのため、LINE、Facebook、Instagram、X(旧Twitter)といった多様なSNSやインターネットを積極的に活用し、それぞれの特性に適した形で情報発信を展開する。これにより、若年層をはじめとする幅広い世代に対するアプローチを強化し、政治活動や選挙運動への積極的な参画を促していく。

これらを通じ、組織内議員や友好議員に加え、働く者・生活者・納税者の立場を重視する政治家と幅広い協力関係を築き、目的と政策を共有する政党および政治家との連携体制をより強化していく連合山梨が掲げる「働くことを軸とする安心社会～まもる・つなぐ・創り出す～」の実現に向け、積極的な政治活動を推進する。

【政治センターの機能発揮】(1)(2)(3)略

(4)連合本部が実施した政治アンケートの結果を踏まえ、主体的な政治活動への参画につなげていく。

【地方政治の活性化】【県内政党との関係】については省略

【選挙運動への参画】

選挙戦においては、街頭演説や各種集会などの地上戦も効果的に展開し、直接有権者と顔を合わせて思いを伝えることで、信頼感と共感を得ることも重要である。オンラインとオフラインを連動させたハイブリッドな選挙戦を通じて、組合員の政治参加意識を高め、投票行動へとつなげていく取り組みを強化していく。

*直近の国政選挙

○第26回参議院議員通常選挙(2022年7月)

「投票率52.05%(山梨56.23%)」

○第50回衆議院議員総選挙

(2024年10月)「投票率53.85%(山梨57.90%)」

○第27回参議院議員通常選挙

(2025年7月)「投票率58.51%(山梨61.47%)」

○第51回衆議院議員総選挙

(2026年2月)「投票率56.26%(山梨58.52%)」

【国政選挙】(1)略

(2)次期参議院議員選挙を見据え、連合が求める政策の実現に向けた政策課題の整理や候補者擁立に関する情報収集・協議など、必要な準備を進めるとともに、関係する政党県連との連携をはかる。

【山梨県知事選挙】

連合山梨は、開かれた県政運営、将来を見据えた県政課題への対応姿勢も勘案しつつ、次期知事選に向けた対応を関係政党および団体と協議していく。

【甲府市長選挙】

甲府市長選挙は、これまでの連合山梨との関わり、当該の構成組織、地域協議会等とも連携をはかり対応していくこととする。

【統一地方選挙】

(1)2027年に実施される第21回統一地方選挙について、連合山梨の政策実現と働く者・生活者・納税者の声を地方政治に反映させるため、各構成組織、地域協議会(地区協含む)と連携し、組織の総力を結集した取り組みを進める。

(2)連合山梨の政策を共有し、連合がめざす社会の実現に向けて取り組む候補者について、関係組織と連携しながら擁立・推薦を進めていく。

【その他の選挙】については省略

□ 推進分野 — 3

国際労働運動の推進

【国際連帯活動の推進】については省略

□ 推進分野 — 4

【労働組合運動の活性化と人材の確保と育成】(2)(3)(4)略

(1)労働組合の組織率は16.0%(R7年労働組合基礎調査)と前年より0.1%の減少となり、組合員数は992万7千人(前年比約1万5千人増)となった。労働組合数は2万2千組合(前年比268組合減)となった。

山梨県の現状としては、令和7年6月現在労働組合数は288組合(前年比5組合減)、労働組合員は38,525人(前年比997人減)、組織率は10.1%(前年比0.4ポイント減少)となっている。

(5)連合として労働者福祉協会を支えていくために、労働者福祉東部ブロック協議会主催「福祉リーダー塾」に連合山梨として参画していく。

【ワークルール検定】【環境問題への対応】については省略

■ 運動分野を支える基盤強化

【持続可能な財政基盤の確立】

(1)持続可能な財政状態を維持するために引き続き予算執行については、複数業者からの相見積もりやインターネットでの平均相場の事前チェック、そして費用対効果を検証するなど効率的・効果的運用をより一層強化する。

(2)外部監査(公認会計士・年2回)と内部監査チェックシートの活用、自主管理・自主点検作業の実施を的確に実施する。

【機構と活動】については省略

【地域組織の活性化】(1)(3)(4)(5)略

(2)地域協議会は、各地区協との連携強化と地域における情報収集に努め、組織拡大委員会や構成組織およびオルガナイズーとの連携により、連合組織拡大プラン2030に沿って積極

的に推進する。構成組織は、これまで以上に地域活動へ積極的に参画していく。

【産業別部門連絡会】(1)(2)略

(3)県や自治体に対する提言の強化に向けてこれまで以上に産

別間の連携が必要であることから、継続した検討を進める。

【産別課題への取り組み】【各種団体の事業支援】

については省略

フルバージョンは、所属の組合にお問い合わせ下さい。

8

8
SAT

連合山梨 女性活躍セミナーを開催

今年度の「連合山梨女性活躍セミナー」は、台風接近による延期を経て、8月8日(土)に労農福祉センター大会議室で開催しました。多様な産別・単組の皆さまにご参加いただき、女性活躍をともに考える貴重な機会となりました。

開会では、女性活躍は女性だけの課題ではなく、働き方や家庭との両立、職場文化の見直しなど、男女双方で取り組むべきテーマであることを共有しました。

講師には、甲斐市議会議員の滝川みゆき氏、北杜市議会議員の保坂たえこ氏をお迎えし、政治を志した経緯や地域での活動、子育て・介護・教育など、現場で向き合ってきた課題について語っていただきました。両氏からは「女性に自信をもってほしい。自分のしてきたことに自信をもってほしい」といった励ましの言葉が寄せられ、多くの参加者の背中を押すメッセージとなりました。

続く対話セッションでは、「心地よく働き続けるために」「仕事も家庭も諦めない社会へ」「未来の職場とエンパワーメント」をテーマに、職場の実情や感じている違和感、日々の気づきなどを率直に共有しました。

参加者からは、「様々な業種の状況を知れて良かった」「他産別の話が参考になった」「自分の中のバイアスに気づいた」「講師の信念に励まされた」「普段気づかない視点を知ることができた」といった声が寄せられました。議員との対話や体験談が印象に残ったとの感想も多く、男女双方で学び合う場となったことが今回の大きな成果でした。

連合山梨女性委員会は、誰もが尊重され安心して働ける職場づくりに向け、今後も取り組みを進めてまいります。

女性委員会 委員長(日教組) 川口 直美



9

4~6
FRI SUN



連合山梨 平和行動in根室

連合「2026平和行動in根室」に参加して



す。北方領土問題を決して風化させず、知るだけでは終わらせない、自分が伝える側になるという強い気持ちを持ちながら、組合活動を通じて、多くの組合員やご家族などに伝えていくという思いを改めて強くしました。

平和行動in根室 参加者 ○印=団長		
氏名	産別名	単組名
○三輪 茂樹	電機連合	矢崎ネット労組
小池 和樹		ファナック労組
七澤 正和		
柳沢 敏志	電力総連	東電労組
小川 直人		

(敬称略)

最後に、一日も早く元島民の皆さんが故郷の島に帰ることができる日が来ることを心から願い、活動とともにした連合山梨、関東ブロックの仲間との出会いに感謝し、平和行動の感想とします。

矢崎ネット労組 三輪 茂樹

9月4日(金)から6日(日)にかけて、2026平和行動in根室に、連合山梨団長 兼 連合関東ブロック団長として参加させていただきました。私にとって17年ぶりの根室訪問となり、北方四島学習会や2026平和ノサップ集会に参加することで、改めて北方領土問題を学び、平和についても考える貴重な時間を過ごすことができた3日間となりました。

活動を通して、特に心に残ったことは、学習会の中で元島民お二人の語り部の話を聞いたことです。当時の生活や島を離れた時の辛い思いを直接伺うことで、資料で知る情報とは違うご本人の言葉で語られる体験談には重みがあり、「墓参再開の願いと、生きている内に島へ・・・」と語られた言葉は切実な思いで胸に突き刺さりました。

現在生存されている元島民の皆さんは、5,000名を下回り、平均年齢も90歳となるそうで



9

16~18
WED FRI

第85回全国産業安全衛生大会

第85回全国産業安全衛生大会 in 札幌に参加して

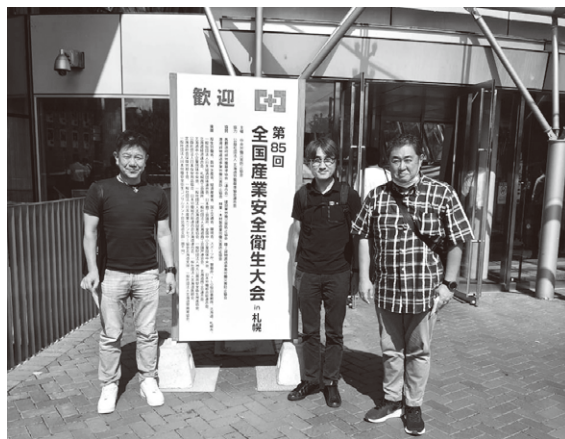
3日間の研修日程の中で、私が最も印象に残ったのは、1日目に聞いたセコマグループの講演です。

今回の講演を聞いて、セコマグループが単なるコンビニエンスストアではなく、地域の生活を支える企業として事業を展開していることが印象に残りました。特に、人口減少や高齢化が進む中で、利益や効率だけを追求するのではなく、地域に必要とされるサービスを維持し、地域と共に成長していこうとする姿勢に強く興味を持ちました。

また、原材料の生産・調達から食品製造、物流、小売までを自社グループでつなぐ独自のサプライチェーンを構築している点也非常に興味深かったです。地域で生産されたものを商品として開発し、販売することで、地域の魅力を発信すると同時に、地域経済の活性化にもつなげていることが分かりました。

今回の講義を通じて、企業にとって地域との関係は単なる社会貢献ではなく、事業を継続し成長させるためにも重要な要素なのだと感じました。地域の特性を生かしながら事業そのもので解決に取り組む姿勢は、とても参考になり、企業と地域が互いに支え合うことの大切さを学ぶことができた講義でした。

情報労連 NTT労組 向井 仁志



札幌で開催された全国産業安全衛生大会に参加し、労働組合として安全衛生にどう向き合うべきかを改めて考える有意義な機会となりました。講演では「安全は経営課題であると同時に働く者の権利である」との言葉があり、現場の声を反映する組合の役割の重要性を強く認識いたしました。分科会では、メンタルヘルス不調やコミュニケーション不足が災害の背景となる事例が紹介され、相談しやすい職場づくりが安全衛生の基盤であることを実感しました。管理職の指導方法やハラスメントがリスクにつながる点も示され、組合として教育・啓発活動をさらに強化する必要性を感じました。さらに、働き方の変化や若年層の価値観の多様化が安全衛生にも影響を与えているとの指摘があり、世代間のコミュニケーションを促進する取り組みの重要性を認識いたしました。

今回得た知見を職場に持ち帰り、安全衛生委員会への提案や教育活動の充実につなげ、安心して働ける職場づくりに取り組んで行きたいと考えております。

JR総連 JR東労組 野中 広俊

第85回全国産業安全衛生大会に参加し、安全・安心な職場をつくるためには、日々のリスクを正しく把握し、情報を共有しながら継続的に改善していくことが重要だと改めて感じました。労働災害による死亡者数は前年に続き過去最少となっている一方で、精神障害の労災認定件数は過去最多となっており、身体的な安全対策だけでなく、メンタルヘルスへの取り組みもより一層重要になっていると感じました。

分科会では、リスクアセスメントと分析に生成AIを活用し、さまざまな情報を「見える化」することで、災害やヒヤリハットが発生しやすい状況やリスクの傾向を整理しやすくなるという発表があり、特に印象に残りました。これまで個々の事例として捉えていた情報を、生成AIを活用して整理・分析することで、潜在的なリスクの発見や再発防止策につなげられる可能性を感じました。一方で、生成AIの分析結果だけに頼るのではなく、現場で働く人の経験や気づきを組み合わせ、職場全体で情報を共有することが大切だと感じました。

電機連合 ファナック労組 枝 喜徳

VENTFORET
KOFU

ヴァンフォーレ甲府『ホームゲームチケット』の抽選について

指定席
箇所

J I Tリサイクルインクスタジアム
メインスタンド B7列 102番・103番

申込
方法

申込書(コピー可)にご記入のうえ、
観戦希望日2週間前の金曜日 午前中まで
に連合山梨へお申し込み下さい。
★連合山梨のホームページに掲載されて
いるニュース No.422の申し込み用紙
をご利用ください。



※ ご不明な点はご自身の加盟されている労働組合
へご確認ください。

2026/27明治安田J2リーグ ホームゲーム日程

第12節	10 / 21 (水) 19:00	横浜 F C
第15節	11 / 3 (火)(祝) 14:00	アルビレックス新潟
第18節	11 / 21 (土) 14:00	ヴァンラーレ八戸
第21節	12 / 5 (土) 14:00	サガン鳥栖